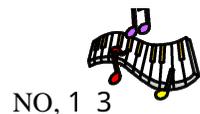


びわ中学校便り



発行：平成26年 3月10日
長浜市立びわ中学校

NO.13

学校評価についての報告

学校評価を生かした学校経営の改善について（概要報告）

平成25年度の学校評価について、評価結果を分析しまとめましたので報告いたします。ご意見、ご感想等をお寄せいただければ幸いです。

1 学校評価の状況（裏面ならびに学校だよりNO.11、12号参照）

平成25年度の学校評価（学校評価にかかるアンケート調査）は、生徒、保護者、職員を対象とした内部評価と学校運営協議会委員を対象とした外部評価を1学期末、2学期末と2回実施しました。回収率は生徒94%、保護者86%、職員100%でした。2学期末評価は、一学期末評価と比較すると、達成率は微増しています。評価項目の「授業中のこと」や「家庭学習」のところでは、生徒と教職員の捉え方に違いが見られ、学校側の取り組みと保護者が求める取り組みにも温度差を感じられるところが見られました。アンケートの集計結果は、教職員ならびに学校運営協議会で分析し、今年度の成果と課題、そして平成26年度に向けての改善策等を協議しました。さらに、学校評価を通して、「学校に問われていること」、「教師に問われていること」を明らかにし、次年度への学校経営の力点としました。

2 学校評価から見える学校経営上の成果と課題

- 1) 合言葉は、生徒・保護者・地域に年々浸透してきたが、無意識に実践できるように日常的に意識させ、唱え続けることが必要である。言葉のみで終わることなく、態度や行動に表れてこそ、校風や伝統となる。
- 2) 楽しい学校生活が送れているのは、生徒と教職員が気軽に何でも話せることであり、良好な関係を示している。しかし単語で話すことや目上の人への話し言葉がため口的で、言葉遣いが良くない。言葉の乱れについて保護者と連携し、家庭でも正しい言葉遣いを指導してもらい協力を依頼する。併せて、教職員の言葉遣いも生徒の見本となるように留意する。
- 3) 開かれた学校づくりとして、学校行事や授業参観を公開日「学校へ行こう」として設ける等、取り組んでいる。さらに、地域とのつながりが持てるボランティア活動やPTA活動の活性化に取り組み、地域から信頼される学校、地域から求められる生徒の育成をすること。
- 4) 学校行事に生徒は積極的に参加し意欲的である。また、生徒会活動も定例的な生徒集会等、自主的に取り組み、生徒の自治活動・自尊感情の育成に取り組んでいる。特に、3年生は素晴らしい。
- 5) 授業態度は、「真面目に先生の話聞いてる」「分かりやすい授業をしてくれる」と評価する一方、「分からないことに対して質問する」「授業で発表する」生徒は少ない。大半が受け身的で消極的である。教職員は、生徒の授業や学習に対する分析を具体的にを行い、「分かる授業づくり」「学びたい」と思わせる魅力ある授業づくりに努めること。
- 6) 「学校生活を楽しく送れた」と答える生徒は大半で、保護者も同様に感じている。しかし、1割の生徒は否定的であることを踏まえ、一人ひとりに寄り添った学校づくりに今後も尽力すること。
- 7) 学校だより、学年通信、学級通信等で学校の様子は理解できるが、ホームページでの情報発信も重要であり、定期的でタイムリーなHPの更新をすること。

- 8) 家庭との連携はできているが、保護者や地域とのつながりはPTAの取り組みが重要である。より積極的なPTA活動を願う。
- 9) 地域の行事やボランティア活動に積極的に参加できるように企画・計画を配慮すること。特に、長期休暇中に。
- 10) 自転車通学での危険箇所の対応を継続的に市に依頼すること。また、ヘルメットの非着用、とくにあご紐を締めることの徹底、並進運転等自転車マナーの悪い生徒の指導の徹底を図ること。

3 学校評価から学校に問われていること。教師に問われていること。

1) 学校に問われていること。

- ・合言葉の実践化、行動化ができているか。
- ・いじめのない学校づくりに取り組んでいるか。
- ・生徒は、登下校の挨拶が地域の方にできているか。
- ・ホームページを更新し、情報発信をしているか。
- ・地域と連携を図るPTA活動に取り組んでいるか。



2) 教師に問われていること。

- ・授業の工夫・改善を行い、わかる授業づくりに努めているか。
- ・授業や学習の分析を行い、学力向上の具体的方策を論じているか。
- ・家庭学習の習慣化を図る具体策が論じているか。
- ・保護者との連携・連絡を密にしているか。
- ・生徒一人ひとりを大切に学級づくりに努めているか。
- ・適切な言葉遣いで話せる生徒を育成しているか。

4 平成26年度の学校経営の力点

1) 合言葉「時を守り 場を清め 礼を正す」を基本として学校づくりと行動化

朝のスタート大切にす。

- ・始業・終業の時間を守る
- ・遅刻を0にする
- ・美しく規律ある学習環境
- ・朝の会30秒の立腰
- 心をこめて磨き込む清掃活動
- ・時間一杯の清掃活動とトイレボランティアの推進
- 元気さわやかなあいさつ
- ・授業の始め、終わりのあいさつ：けじめをつける
- ・登下校での地域の人へのあいさつ：心を開く
- ・正しい言葉遣い：人への尊敬

2) 特別支援の視点を生かした授業づくり・学級づくりと家庭学習の充実

- 誰にとっても楽しくわかりやすい授業づくり
- ・授業のめあての提示
- ・研究授業で自己研鑽
- グループ学習や教え合い学習で授業の活性化
- ・発表や質問の場を増やす。
- ・学びの協働体づくり
- 人と人がつながる学級づくり
- ・不登校生徒の減少

3) 生徒が主役となる生徒活動の推進

- 生徒会の活躍を機会を捉え地域へ発信する
- 生徒集会の一層の充実と行事に意欲的に取り組んだ生徒の表彰



4) 地域とともに育つ学校づくり

- 地域行事、地域でのボランティアへの積極的な参加を促す。
- 学級懇談会で同年の親同士の話し合い
- ・親のつながりから地域のつながり
- 学校公開日を中心に、公開週間を設定し、保護者だけでなく地域の方にも公開する。



